

文化を繋ぎ、未来へと紡ぐ架け橋

河南中学校 三年 高橋 大智

みなさんはどんな時に、やっぱり盛岡が好きだ、と思いますか。僕は和と洋が混ざり合う歴史的な町並みと移る季節と共に、折々の自然を見せてくれる盛岡が好きです。そんな盛岡をビクトリア市の中学生の皆さんと一緒に歩くことを想像しながら紹介していきます。まず一番は、春のサケの稚魚放流会に参加してみたいです。カナダでもサケ、つまりサ

ーモンは有名なので、盛岡で一緒に体験し、カナダ近くにも長い時間をかけ泳いでいくであろうサケの稚魚と一緒に見送りたいです。そして、お互いの国のサケについて文化交流もできたら楽しいと思います。

次に歩きたいのは、中津川からすぐに行くことが可能な城跡公園です。ここは四季の美しさが最も色濃く出る場所だと思います。春は満開の桜の下でお花見。夏は城跡公園の地で虫を探す夜。秋は地面と空を埋めつくす程

の紅葉。冬は白銀の雪をまとった石垣。これは東北では珍しい秀吉中かりの石垣で、この盛岡が世界に誇るものの一つです。そしてこの場所には、ビクトリア市から贈られたトムポールがあります。僕の母校、中野小学校にもトムポールがあり、さらに給食では、ビクトリア給食から出ていたことを覚えていきます。あの時食べたキリビーンズと鮭のステーキは、言わば食文化の交流でもあり、城跡公園を散策しながら、おもしろかったです。ここを伝えたり作り方も教えてもらったりです。

もし、カナダの中学生の皆さんが盛岡に来て、中学生である自分がどんなおもてなしができるかと考える時、まずは来てくれた人が沢山思い出を作れる旅行にする。バカから安心して旅行を楽しめるようにする、というところが一番のおもてなしだと思います。例えば、何か聞かれたことを知っていると英語で伝える。勿論ジェスチャーでも良いと思います。

親しみを含めて相手を名前で呼んだり、宿泊地のベトナムが布団のどちらを好むか、食事の好き嫌いを事前に把握するなど、さりげなく相手をホフとさせられるような行動をしていきたりです。

そして、僕は彼らに紅葉をあしらった日本柄のエコバッグとヨーヒーを渡したりの思います。エコバッグは世界共通の環境問題に共に取り組むためです。ヨーヒーは力不足で大人数であり、盛岡もヨーヒーがエスがある位人々に文化が浸透してきます。このヨーヒーを通して、より多くの人と文化交流をしたりの、そう、た思ひでこの二つを渡したりのです。

僕には夢があります。それは、新渡戸稲造博士のような国連職員となることです。そのため、世界の国々の文化や伝統をしっかりと理解する必要があると考えます。まずは、自分自身がしっかりと学び、世界へ盛岡を伝えていきたいです。そして、いつかビクトリアだけでなく国際社会をしっかりと繋ぐこ

とができる、架け橋
になりたいと強く思っ
ています。